

## 第IV期 第15回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2025年12月22日（月） 13時00分～13時25分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）秋山正幸委員（Zoom）、高田昌広委員（Zoom）、高橋慶太郎委員（Zoom）、瀧崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、堀田英之委員（Zoom）

（台内）井口聖委員（Zoom）、齋藤正雄委員、都丸隆行委員（Zoom）、竝木則行委員、野村英子委員（Zoom）、藤井友香委員（副委員長）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台外）渡邊誠一郎委員

※石原安野委員：長期出張に伴い委員活動を休止中（2025.11～2026.2 予定）

（台内）生駒大洋委員

陪席：

（台外）運営会議：河野孝太郎委員、住貴宏委員（Zoom）

（台内）土居守台長、堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

### 1. 確認

#### 1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

本原委員長から、出席者の確認を行った。

#### 1.2 第14回議事抄録の確認

本原委員長から、11月26日に開催された第14回国立天文台科学戦略委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

### 2. 報告と議論

#### 2.1 2025年度将来シンポジウム開催結果

##### 2.1.1 参加者統計

事務局から12月2日から4日まで開催した2025年度将来シンポジウムの開催結果として、参加人数と参加者内訳、Zoomで実施したアンケート結果について報告があった。

##### 2.1.2 参加者アンケート結果

本原委員長から、将来シンポジウムにおける参加者の意見、アンケート結果、サイエンスロードマップ（SRM）へのコメントについて紹介があり、意見交換を行った。

（主な意見交換）

ープロジェクトの定義を明確にすべきとの意見があるが、国立天文台が実施するプロジェクトが何なのか曖昧である。LOIは国立天文台にバックアップして欲しいものとして出されており、あまり明確に定義すると問題が生じる可能性もあり慎重にすべき。

ー将来シンポジウムの中で、国立天文台が準備している技術ロードマップをSRMの中で

共有するという話があったが、それに関してフォローアップはあるか。

－たたき台を議論できていない状況である。当該技術ロードマップは人材育成のために作成を始めたものであり、目的が大きく異なる。SRMのような長期計画に位置付けるためには調整にかなり時間が必要である。

－SRMに技術の視点が入ることは非常に大事であり、技術ロードマップは本委員会ですっかり議論すべき。ただし、SRMの策定は待つことができないため、別々に進めて将来的にNAOJロードマップとして統合するのが良いのではないか。

－提案の中で技術的なフィージビリティの観点が抜けていると感じている。新しい技術の使用には10年前から取り組む必要があり、技術ロードマップが無くとも現実的なワードが入っていると良い。

## 2.2 実施計画策定手続きの検討状況

齋藤委員（副台長）から、実施計画策定手続きに関して、国立天文台内の策定委員の構成及び本委員会からのオブザーバー参加について、台内会議で議論した上で次回委員会に報告するとの説明があった。

また、齋藤委員（副台長）から、LOIとしては出ていないが運営費交付金で進めているEACOA（東アジア中核天文台連合）などの国立天文台の諸活動を実施計画にどのように位置付けるかについて、次回委員会までに案を用意する予定であるとの報告があった。

以上